

**製品名: Rab 3 GAP p150 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16750**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	156kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RAB3GAP2
別名	RAB3GAP2; KIAA0839; Rab3 GTPase-activating protein non-catalytic subunit; RGAP-iso; Rab3 GTPase-activating protein 150 kDa subunit; Rab3-GAP p150; Rab3-GAP150; Rab3-GAP regulatory subunit
遺伝子 ID	25782.0
SwissProt ID	Q9H2M9
免疫原	抗血清はヒト RAB3GAP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 417-466

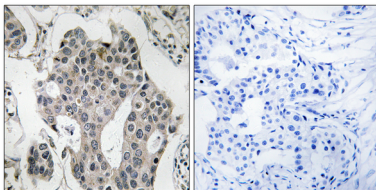
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は RAB3 タンパク質ファミリーに属し、同ファミリーのメンバーは神経伝達物質およびホルモンの調節されたエキソサイトーシスに関与しています。このタンパク質は RAB3GAP1 と Rab3 GTPase 活性化複合体を形成し、RAB3GAP1 は調節サブユニットとして、RAB3GAP1 は触媒サブユニットとして機能します。この遺伝子は脳内で最も高い発現レベルを示し、神経発達において重要な役割を果たすことが示唆されています。この遺伝子の変異はマーツゾルフ症候群と関連しています。[RefSeq 提供、2009 年 10 月]、疾患：RAB3GAP2 の欠陥はマーツゾルフ症候群の原因です [MIM:212720]。マーツゾルフ症候群は、先天性白内障、精神遅滞、および性腺機能低下症を特徴とします。遺伝形式は常染色体劣性。機能：Rab3 サブファミリー (RAB3A、RAB3B、RAB3C、および RAB3D) に特異性を持つ GTPase 活性化タンパク質の調節サブユニット。Rab3 タンパク質は、神経伝達物質およびホルモンの調節されたエキソサイトーシスに関与する。Rab3 GTPase 活性化複合体は、活性型 Rab3-GTP を不活性型 Rab3-GDP に特異的に変換する。正常な眼および脳の発達に必須である。シナプス形成前の増殖、移動、分化、およびシナプス以外の小胞からの神経伝達物質の放出といった神経発達過程に関与する可能性がある。類似性：Rab3-GAP 調節サブユニットファミリーに属する。細胞内局在：ニューロンでは、シナプス可溶性画分に多く含まれる。サブユニット：Rab3 GTPase 活性化複合体は、RAB3GAP と RAB3-GAP150 からなるヘテロ二量体である。Rab3 GTPase 活性化複合体は DMXL2 と相互作用する。組織特異性：普遍的。

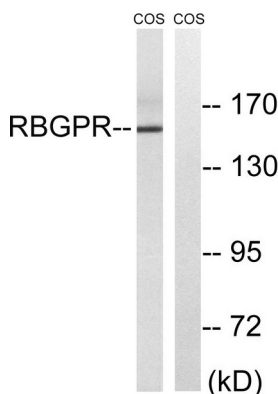
## 研究分野

神経科学、神経伝達、分泌小胞、RAB、シグナル伝達、シグナル伝達経路、G タンパク質シグナル伝達、低分子 G タンパク質、調節因子、タンパク質輸送、小胞輸送、調節、神経プロセス、神経発生、発生生物学、器官形成、神経系の発達

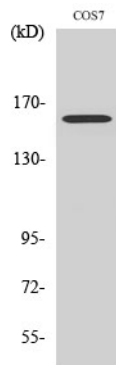
## 画像データ



RAB3GAP2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



RAB3GAP2 抗体を用いた COS 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Rab 3 GAP p150 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析